

現代マネジメント学部
ファーストイヤーゼミ
「タブレットの初歩」

三木 邦弘

平成31年4月16日

目次

1	タブレットとは	2
1.1	タブレットの形状	2
1.2	タブレットのOS	2
1.3	タブレットの使われ方	2
1.4	この演習で使用するタブレットの紹介	3
2	基本的な使い方 (Android)	3
2.1	電源の入れ方	3
2.2	電源の切り方	4
2.3	操作の基本	4
2.4	ロック画面	5
2.5	ホーム画面	5
2.6	3つのボタン	5
3	ftpBaseの使い方	6

1 タブレットとは

タブレットはいわゆるスマホから誕生したコンピュータです。それ以前にも似たような形状のコンピュータがありましたが、2010年の1月にアップル社から発表されたiPadが現在のタブレット型コンピュータの元祖となっています。まだ歴史は浅いものですが、良く売れており、これまでパソコンが使用されていた多くの分野でパソコンに代わって使われるようになっていきます。

1.1 タブレットの形状

形状は長方形の板状になっており、画面が7インチ¹程度のミニサイズのもの、10インチ程度のものに分かれます。スマホと違って電話ではないので、どちらが上なのか良く分からないものです。ただ表示内容は重力を検知して回転しますので、表示する内容に合わせて縦向きか横向きで使用します。アプリケーションにより表示の回転がされないようになっているものもあります。

持ち運びの便を考えると、ミニサイズの方が小型で軽くなります。それでもスマホよりはかなり大きいので見やすくなります。持ち運ぶ必要が余り無い家庭などの使用ならば大きい方がさらに見やすく、タッチもしやすくなります。価格はミニサイズの方が安くなりますが、大きさ以外の点の性能はほとんど変わりません。

より大きな画面のタブレットとして、2015年9月に発表されたiPad Proは12.9インチの画面です。その大きさを生かして、画面を二分割して各々別の作業が行えるようになってます。一方キーボードが外せるノートパソコンと言うアプローチもあります。セパレート型2 in 1パソコンと呼ばれるものは、キーボードの部分を外せばタブレットとして利用が可能になっています。10インチ以上の大きな画面のタブレットが欲しい場合は、こちらで探した方が良いでしょう。

1.2 タブレットのOS

パソコンのOSはMicrosoftのWindowsの独占状態になっていますが、タブレットは現在のところ3つに分けられると思います。Android、iOS、Windowsです。iOSはアップル社のiPadでしか使われていませんが、最初のタブレットだったことや、iPhoneとほぼ同じなので広く使われています。これに対抗して作られたAndroidは多くの会社のタブレットで採用されており、世界的な占有率ではトップになっています。Windowsは出遅れましたが、セパレート型2 in 1パソコンではほとんどのものがWindowsですし、パソコンと同じOSと言うことで企業での利用では今後さらに伸びていくと思われれます。

値段で比較すると、多くの会社が採用しているAndroidのタブレットに安いものも多く、iOSはやや高価で、Windowsはミニタブレット用のWindowsを無料にしたため、ミニでないものは少し高価で、ミニはAndroidと余り変わらない値段になっていることが多いようです。

この演習で使用するタブレットは安価なAndroid型のもので、安価なAndroid型タブレットは、新しいバージョンのAndroidが発表されても、それに更新することができないことが多く、購入した時のAndroidを、いつまでも使用していくことになります。iOSに関しては、一番最初に発売されたiPad以外は最新のiOSに更新できるようになっています。Windowsに関してはWindows10で終わりと言われているので更新の心配はあまりなくて良いのかもしれませんが。

1.3 タブレットの使い方

電子書籍を読むためのものと言う使い方があります。普通の人が普通の本を読むのもそうですが、仕事のマニュアルなどをタブレットに入れておき、必要に応じて読むと言う使い方です。マニュアルを印

¹1インチは2.54cmです。7インチは画面の対角線の長さを示しています。

刷する必要がなくなり、更新も容易になるので費用の節約になります。仕事の内容によっては膨大なマニュアルを用意する必要があるところもあり、これまでは保管や運搬にも苦勞していました。それがタブレット1台で済むのは助かります。

家庭でのパソコンの利用を考えると、その大半はタブレットで十分でしょう。ゲーム、ビデオ鑑賞、音楽鑑賞、ホームページを見るなどキーボードによる文字入力がほとんど必要の無い分野は、コンパクトなタブレットで良いでしょう。もっとコンパクトなスマホでも十分かもしれません。大抵のタブレットはケーブルさえ用意すればテレビに接続することができます。よってゲームやビデオをより大きな画面で楽しむこともできます。

パソコンの利点はキーボードによる文字入力が容易な点です。また拡張性に優れています。ただ、大抵のタブレットはUSB接続²が可能なので、USBキーボードが付けられます。文書を作成し、それを印刷すると言うようなワープロ的な使用がなければ、家庭のパソコンはスマホやタブレットに置き換わっていくでしょう。

会社でのパソコンの使用は、Word、Excel、データベースの利用などと言われています。この辺りはこれからもパソコンが残っていくと思われれます。タブレットの使用は簡単です。それだけに、これしか使えないと言う人材は、それ以外の点で価値がないと、安く使われることになります。パソコンのお勉強もちゃんとしておきましょう。

1.4 この演習で使用するタブレットの紹介

この演習で主に使用するタブレットは、ASUS(エイスース:台湾の会社)のZenPad10と言う機種です。残念ながらASUSはこのサイズのタブレットの生産はやめてしまったようです。タブレットの性能を示すものはいくつかあります。処理を行うCPUはMediaTek MT8163B 1.3GHzとなっていますが、タブレットには非常に多くの種類のCPUが使われており、この名称だけで性能がわかる人はほとんど居ません。メモリーは2GBとなっています。大きいほど良いでしょう。記憶容量は16GBとなっています。これも大きいほどアプリや保存できる動画や音楽の量が多くなります。画面の大きさが10.1インチ、解像度が1280x800です。同じような形状でも安いものは解像度が低いので、細かいところがぼけてしまいます。画面は大きいほど見やすいので、10インチ未満のミニは安くても選択しませんでした。

平成29年度から使い始めましたが、平成25年度より使用していたタブレットよりメモリーが大きく、重さがかなり軽くなりました。Androidのバージョンは7.0です。

2 基本的な使い方 (Android)

ここでは授業で使用するAndroid型のタブレットの使用法を説明します。

2.1 電源の入れ方

スマホならばまだ口と耳を当てるところで上下がわかりますが、タブレットにはそういうものはありません。自分自身を撮影するためのカメラは、ほぼ全てのタブレットにありますので、これがあるところを上としても良いでしょう。大抵のタブレットは上向きに置いた時の右上角付近に電源ボタンがあります。スマホから受け継いだのか、音の大きさを変更するボタンも大抵2つ同じようなところにありますのでご注意ください。

ずっとこの説明で済ませていたのですが、この授業で用いるタブレットは違いました。左上の角に電源ボタンがあります。もしかするとASUS社のタブレットはみんなこの位置にあるのかもしれませんが。

²充電ケーブルを接続するためにしか使われていないことが多い。

電源ボタンを軽くポチッと押します。すぐ画面が点灯し、利用することができるようになります。長押し(7秒程度)すると再起動になります。電池が放電して完全に止まってしまったような場合やシャットダウンしたい場合に長押しします。この場合はOSの再起動になるので、使えるようになるまで少し時間がかかります。

2.2 電源の切り方

電源ボタンを軽くポチッと押しますと、画面が真っ黒になります。この状態では中断されただけなので、再び電源ボタンを押すと元に戻ります。長押しするとシャットダウンとか電源を切るかどうかを尋ねてきます。シャットダウンすると起動したアプリなどが全て停止するので、ほとんど電気を食わなくなります。その代わり再起動した後でアプリの起動などもする必要があります。

タブレット型のOSの特徴として、起動したアプリはなかなか終了しないという点があります。別のアプリを起動しても、その前に起動したアプリは動いたまま、メモリーを占有したままです。そのうちメモリーが足らなくなるとようやくアプリを終了します。うまく終了できなかつたりすると、再起動しないとだめなような事態になります。素早い応答のためにこのような設計になっているようですが、タブレットを共有するような場合は、用が済んだアプリを簡単に終了できる方が良いと思います。

次の人があせると困るので、「電源を切る」はしないでください。また指紋がいっぱい³付いてしまったなあ、と思ったらハンカチで拭いておいてください。

2.3 操作の基本

パソコンのマウスで行うことを指で指示します。マウスはボタンが2つありますが、指にはボタンがないので使い分けに少し苦勞しています。

● タップ

指を画面に軽く触れて、素早く離すと「タップ」になります。マウスのクリックとダブルクリックに相当する働きで、何かを選択する時やアプリの起動などに使います。

● 長押し

指を画面に触れたまま一定時間指を動かさないと、「長押し」になります。長押しをすると、押しているもののメニューや選択肢が表示されます。ホーム画面ではアイコンを移動させるのにも使います。

● ドラッグ

指を画面に触れたまま上下左右に滑らせると「ドラッグ」になります。画面上を滑らせた指は、画面上で動きを止めてから離します。画面に表示されている内容をスクロールする時に使います。

● スワイプ

軽い「ドラッグ」のようなもので、指でごみを掃き出す感じです。つまり指を動かす方向に意味があり、終点の位置は動作には余り関係がありません。消去の指示などに良く使われます。

● フリック

画面を指で、はたくような動作をすると「フリック」になります。画面に表示されている内容を速くスクロールしたい時に使います。指のスピードによってスクロールする量が変わります。

³スマホやタブレットは、指の表面の湿り気がないとうまく動きません。年を取ると皮膚が乾いてくるのでタブレットが使いにくくなります。でも指紋は付きにくくてなります。

- **ピンチイン・ピンチアウト**

二本の指を同時に画面に触れて、その距離を縮めると「ピンチ・イン」になります。画面に表示されている内容を縮小する時に使います。逆に距離を広めると「ピンチアウト」になり、画面に表示されている内容を拡大する時に使います。

- **ダブルタップ**

2回連続で素早くタップすると「ダブルタップ」になります。拡大した写真をダブルタップすると、元のサイズに戻ったり、ブラウザ等で使用すると、見やすいサイズに調整されたりします。

2.4 ロック画面

電源ボタンを押すと時刻といくつかのボタンがある画面が表示されます。ここで、画面の空いたところを上から下へスワイプすると、ロックが解除され、ホーム画面に切り替わります。

Android ver. 4.2 より一つのタブレットを複数のユーザが使えるようになりました。その場合このロック画面で使用するユーザをタップして選択します。かつてパソコンも企業などでは1人で1台を使用する形態から、005教室のように複数のユーザで使用する形態へ変わってきました。仕事で使うタブレットも同様の道を進むのではないかと思います。

2.5 ホーム画面

この画面は設定次第で自由に変更できますので、見た目は色々です。パソコンのデスクトップのアイコンのようなものはアプリです。スマホでは画面がこれだけ詰まっていると思いますが、タブレットは大画面なので余裕です。これをタップすると、アプリが起動されます。

この演習で使用するタブレットのホーム画面には、「ftpBase」⁴、「Firefox」⁴、の2つのアプリが置いてあります。また、画面下部中央にある●●●●をタップするとアプリの一覧画面に切り替わります。

また似たようなものとして、ウィジェットと言うものもあります。こちらもアプリの一種ですが、最初から起動状態になっており、時刻や天気などの情報を知らせてくれます。現在の時刻や日付、電池の残量が表示されるものをホーム画面に置いてあります。

2.6 3つのボタン

iPadは押すとホーム画面に戻るボタンしかありません⁵。Androidは当初3つ、後に4つのボタンになったかと思えばまた3つに戻ったようです。またボタンの形状がAndroidのバージョンによって変わります。



左から順番に、

- 戻るボタン：前の画面に戻ります。
- ホームボタン：ホーム画面に戻ります。
- アプリ履歴ボタン：最近使用したアプリの一覧が出るので、使いたいアプリをタップします。共有のタブレットの場合、終了する前にこのボタンをタップし、出てきたアプリを右へスワイプすると履歴を消す事ができるので、全て消しておきましょう。

⁴Web ページを見るためのアプリ。ブラウザの一種。

⁵Apple 社のパソコンである Macintosh のマウスもボタンが一つしかありません。複数あるとユーザが混乱すると言うのが理由だそうです。でも一つでは複数の役割を持たせるのが難しいので、Shift キーを押しながらマウスでクリックなどの技を使ったりします。

3 ftpBaseの使い方

005室などの現マネ棟のパソコン演習室のパソコンでは、「教材フォルダ」や「共有フォルダ」という共通のフォルダが扱えるようになっています。「教材フォルダ」の内容は、学生のパソコンから見ることはできませんが変更はできないようになっています。「共有フォルダ」の方はどのパソコンからでも自由に使うことができるようになっています。これをタブレットからも扱えるようにするために開発したアプリがftpBaseです。

起動すると「教材フォルダ」が表示されます。フォルダのアイコンをタップするとその中を見ることができます。戻るときは画面の右上の「↑」ボタンをタップしてください。左下の「戻るボタン」ではホーム画面に戻ってしまいます。

大きな「？」の付いたファイルは開くことができませんが、そうでないアイコンのファイルは開くことができます。内容を見終わったら、右上に赤い「X」ボタンが出ている場合は、それをタップして戻ってください。そうで無い場合は、左下の「戻るボタン」をタップします。

ftpBaseの使用終了の際も赤い「X」ボタンをタップしてください。